

東京都国分寺市における 「防災まちづくり」の取り組み

国分寺市政策部秘書担当課長
(前総務部くらしの安全課長)

塩野目 龍一

1. 国分寺市の防災都市づくり



§ 1. 防災都市づくりの取組み(背景)

①昭和30年代後半からの
経済成長による都市化



+

②各地での大地震
昭和39年 新潟
昭和43年 十勝沖 等



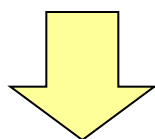
+

③国分寺市の周辺状況の認識

- ・南関東地域での大地震69年周期説の公表
- ・立川断層をはじめとした災害危険要因の増大

§ 2. 国分寺市における防災都市のあり方

昭和49年 防災都市づくり開始



昭和52年
防災都市づくりの方向性決定(答申)

国分寺市における都市防災のあり方

- ① 地域における防災まちづくりの推進
- ② 市民の自主参加
- ③ 防災都市づくりを行政が進める上での横断的組織体制の確立
- ④ 都市基盤整備の推進

昭和50年
「都市の安全性を考える委員会」設置

2. 防災まちづくり推進 における個別事業



§ 1. 長期総合計画

第四次
国分寺市長期総合計画
(平成19年度～平成28年度)
基本構想

基本計画(国分寺づくり編)
基本計画(財政計画編)
基本計画(行政経営編)



国分寺市
平成19年3月

①災害等に対応した危機管理体制の確立

主にハード面の整備（防災対策係）

災害や危機に対して迅速かつ多面的な対応が可能な体制づくりを目指す。

ex. 地域防災計画, 防災訓練, 消防署との連携等

②災害に強いまちづくりの推進

主にソフト面の整備（防災まちづくり係）

市民の防災に対する意識の向上及び地域コミュニティの形成を図る。

ex. 防災まちづくり学校, むかしの井戸
防災まちづくり推進地区

具体的な取組み概要

②災害に強いまちづくりの推進

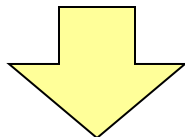
防災データ 作成・公表

市民防災まちづくり学校 運営

国分寺市民防災推進委員会 サポート

防災まちづくり推進地区 設立・運営サポート

むかしの井戸 設置・管理



市民主体の地域防災力向上

§ 2. 防災データの公表

(1) 災害危険診断地図



お住まいの防災メモ

災害発生時の対応方法や避難場所の案内が記載されています。

お住まいの防災メモ

災害発生時の対応方法や避難場所の案内が記載されています。

お住まいの防災メモ

災害発生時の対応方法や避難場所の案内が記載されています。

立川断層を震源とする地震でどのような被害が想定されているの？

立川断層を震源とする地震で、どのような被害が想定されているのかを解説しています。

風水害・土砂災害に備えて

風水害・土砂災害に備えるための対策を解説しています。

災害時の情報伝達・収集手段

災害時の情報伝達・収集手段を解説しています。

家族との連絡

家族との連絡方法や連絡手段を解説しています。

市からの情報

市からの情報収集方法や連絡手段を解説しています。

避難の目安

避難の目安や避難場所の案内を解説しています。

家具の固定

家具の固定方法や対策を解説しています。

火災の予防

火災の予防方法や対策を解説しています。

避難時の準備

避難時の準備方法や対策を解説しています。

避難時の行動

避難時の行動方法や対策を解説しています。

避難時の安全

避難時の安全確保方法や対策を解説しています。

避難時の迷惑

避難時の迷惑防止方法や対策を解説しています。

避難時の迷惑

避難時の迷惑防止方法や対策を解説しています。

避難時の迷惑

避難時の迷惑防止方法や対策を解説しています。

(2) 防災情報地図

(1) 災害危険診断地図

防災関連施設等

- ①地区防災センター
- ②広域避難場所
- ③給水施設
- ④消防署
- ⑤防災無線 etc...

特徴

災害危険情報

- ①建物倒壊危険度
- ②火災危険度
- ③総合危険度
- ④急傾斜地崩壊危険箇所
- ⑤浸水危険区域

効果

- ・平時より避難施設等を把握し、家族及び地域で共通認識を持つことで、災害初動期の行動を円滑にする。

効果

- ・市民一人ひとりが、地域に内在する危険を認識し、日ごろから危険回避のためのまちづくりを行う。

(2) 防災情報地図

国分寺市 Kokubunji City 保存版
Disaster Prevention Hazard Map
防災・ハザードマップ

立川断層を震源とする地震では
どのような被害が想定されているの？

風水害・土砂災害に備えて

災害時の情報伝達・収集手段

（記載されているものの例）

- ①屋内外の対策
- ②防災備蓄品
- ③地震が起きた時の行動
- ④災害時の情報伝達
- ⑤国分寺市の災害対策
etc...

我が家の防災メモ

我が家の防災メモ
家族の連絡先
緊急連絡先

防災関係機関連絡先の

消防団 第1分団 (代表)	042-328-0111
消防団 第2分団	042-323-0119
消防団 第3分団	042-324-0119
消防団 第4分団	042-325-0119
消防団 第5分団	042-326-0110
消防団 第6分団	0120-995-6662
東京電力お客様センター	0120-000-211
下水道局 お客様センター	0120-114-000
東武東上線お客様センター	0370-091-101

市からの情報

災害時の情報伝達・収集手段

地震が起きた時の行動

風水害・土砂災害に備えて

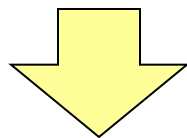
防災備蓄品

国分寺市の災害対策

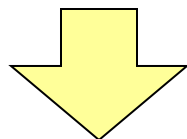
地震等の災害に対する日ごろの備えなどを家族及び地域で共通認識を持つことで、災害初動期の行動を円滑にする。

防災データ公表の理由

積極的な防災関係情報の公開・提供



住民の自発的な行動の喚起



住民の自主的な防災活動

防災データ公表後の効果と課題

効果
市民のまちづくり
活動への喚起



課題
活動のための
知識の必要性

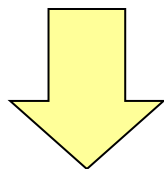


防災についての学習の場の提供

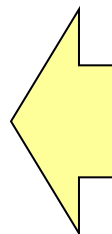
§ 3. 市民防災まちづくり学校

(1) 目的

市民自らが、
・安全で住みよいまちづくり
・地域社会づくり
に関心を持つ。



市民自らが、
積極的に関与する。
⇒自分たちのまちのことは、
・自分たちで決める
・自分たちで守る



目的

市民の学習の場を提供する



(2) 講義形式

受講期間 : 6月から2月まで概ね月1回(全11回)

- ・約1年間かけることで、講座の予習・復習をする時間的な余裕が出る。
- ・受講者同士の交流を図る。

講座内容 : 防災に限定せず、水・緑・ごみ・都市計画等

- ・防災だけでなく、さまざまな面から「市」について学んでもらう。
- ・興味のあることから防災を考えることができる。
- ・自助・共助による防災意識を高める。

講師 : 市職員, 専門家(大学教授, 建築士等), 市民

- ・市民にとって身近なことは、業務に携わっている職員が話す。
- ・市職員と市民の交流を図る。
- ・すでに防災活動をしている市民との交流を図る。

講座形態：各講座は午前と午後1日を通して学習する。

<午前：座学>

外部講師，市職員，市民
による講演やグループワーク



<午後：見学・実技>

午前中の内容を踏まえ現地
へ行き見学したり実技を行う



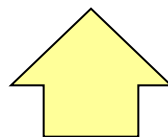
(写真：平成25年度)

(3) 市民防災まちづくり学校の修了 (市民防災推進委員の認定)

修了者(11講座中、7講座以上)へは修了書授与を行う。



効果：修了生が中心となり地域で防災の普及・啓発を行う



問題点：地域の人々の理解を得にくい



防災って言われてもね……。
関心もないし……。

誰の許可を得て
そんな活動をして
いるのか！？



国分寺市民防災推進委員の認定



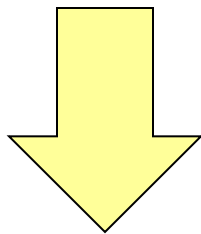
市長より地域での防災の普及・啓発活動を依頼することで、修了者が地域で活動しやすいようになる。

§ 4. 国分寺市民防災推進委員会

(1) 国分寺市民防災推進委員会の設立

国分寺市民防災推進委員から意見(現場からの声)

- ・ 個々人での防災活動の限界
- ・ 推進委員同士が交流を持つ場の必要性
- ・ 防災について深い学習をする場の提供
- ・ 全市的な活動の必要性



昭和59年 国分寺市民防災推進委員会 設立

(2) 国分寺市民防災推進委員会の活動

毎年4月に定期総会開催し、事業決定を行う。
事業については、月に1度の定例会で議論し決定する。

①防災ひろば

②防災のつどい

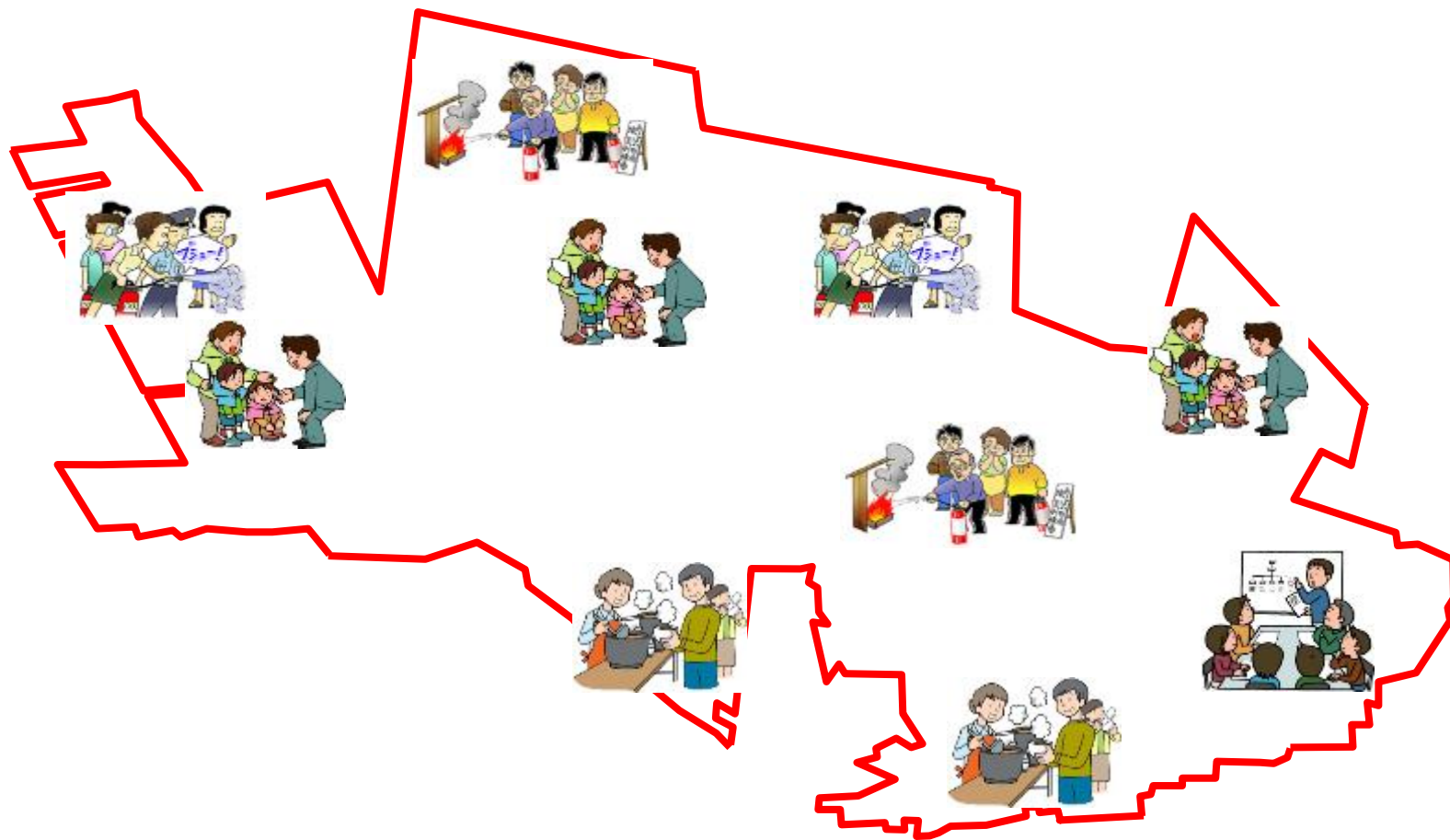
③視察研修

④防災まちづくり講演会



(写真:平成25年度防災ひろば)
毎年数百人以上が参加する防災イベント

市民防災まちづくり学校及び市民防災推進委員会の効果



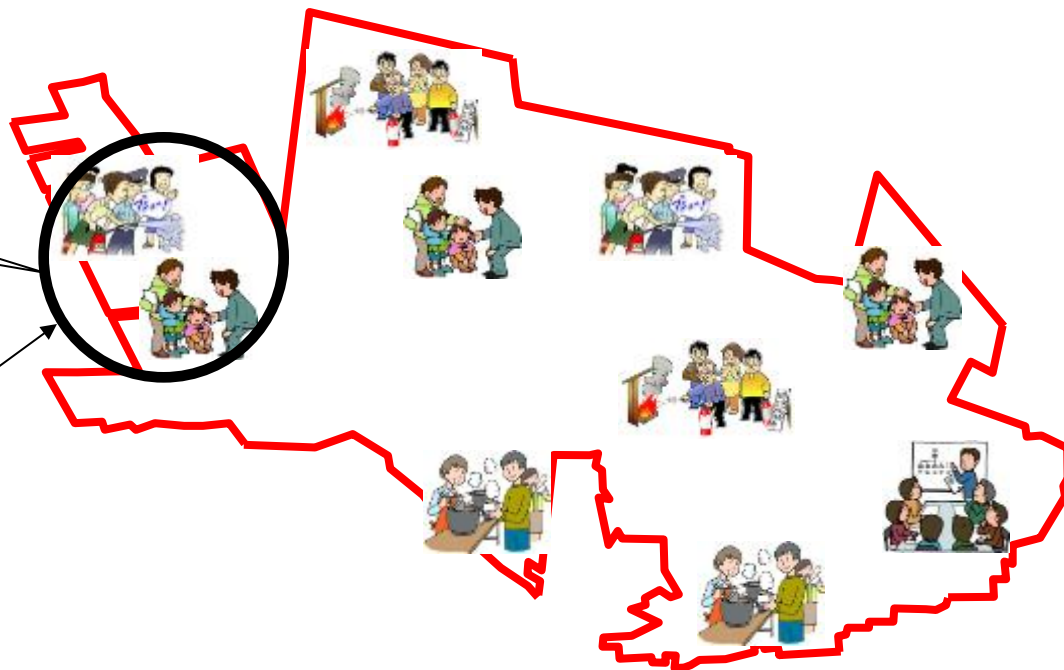
各地区(全市)で市民防災推進委員が増加

§ 5. 防災まちづくり推進地区

(1) 防災まちづくり推進地区

地区住民の発意により、一定のまとまりのある地区を指定し、将来性のある計画的な防災まちづくりを行っていく。

ex. 高木町自治会
高木町1丁目から
3丁目まで



ココ指定

(2) 目標

防災まちづくり推進地区の目標

①地区単位の防災コミュニティづくり

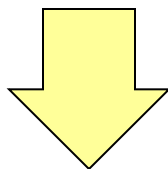
②地区住民と行政が協力して地区の防災計画を策定する

③地区の意向と、地区の合意を基本とした安全な環境づくり

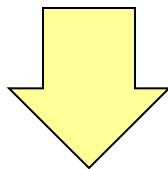
④災害時における住民の自主的な防災活動体制づくり

(3) 防災まちづくり推進地区事業概要

事業の開始 : 市との協定締結



1年目 ~ 3年目 :
コンサルタントを派遣し地区防災計画を策定



4年目以降 : 計画をもとに自立して活動を開始

防災まちづくり推進地区指定要件 (国分寺市防災まちづくり推進地区実施要綱)

- ①自治会，町内会その他団体として会則を有していること。
- ②自治会等として組織が確立されていること。
- ③自治会等として設立されてから概ね5年以上を経過していること。
- ④自治会等として概ね3年以上防災活動を行っていること。
- ⑤自治会等への加入世帯数が概ね100世帯以上であること。
- ⑥自治会等として現に防災上の措置が必要であると認められること。

市と協定締結



コンサルタント派遣期間中の事業内容

3年間

<1年目>

地区内のまちあるき
防災アンケート実施
防災診断地図作成



<2年目>

防災アンケート実施
地区の活動体制検討
平常時の活動検討



<3年目>

地区の防災計画策定



(4) 地区防災計画策定後の活動

4年目以降：地区防災計画に基づき自立した活動を開始

行政の補助

①100万円限度で防災倉庫・
防災資器材の助成

②防災会議場所の確保

③視察研修バスの手配

④防災ニュース発行紙の補助

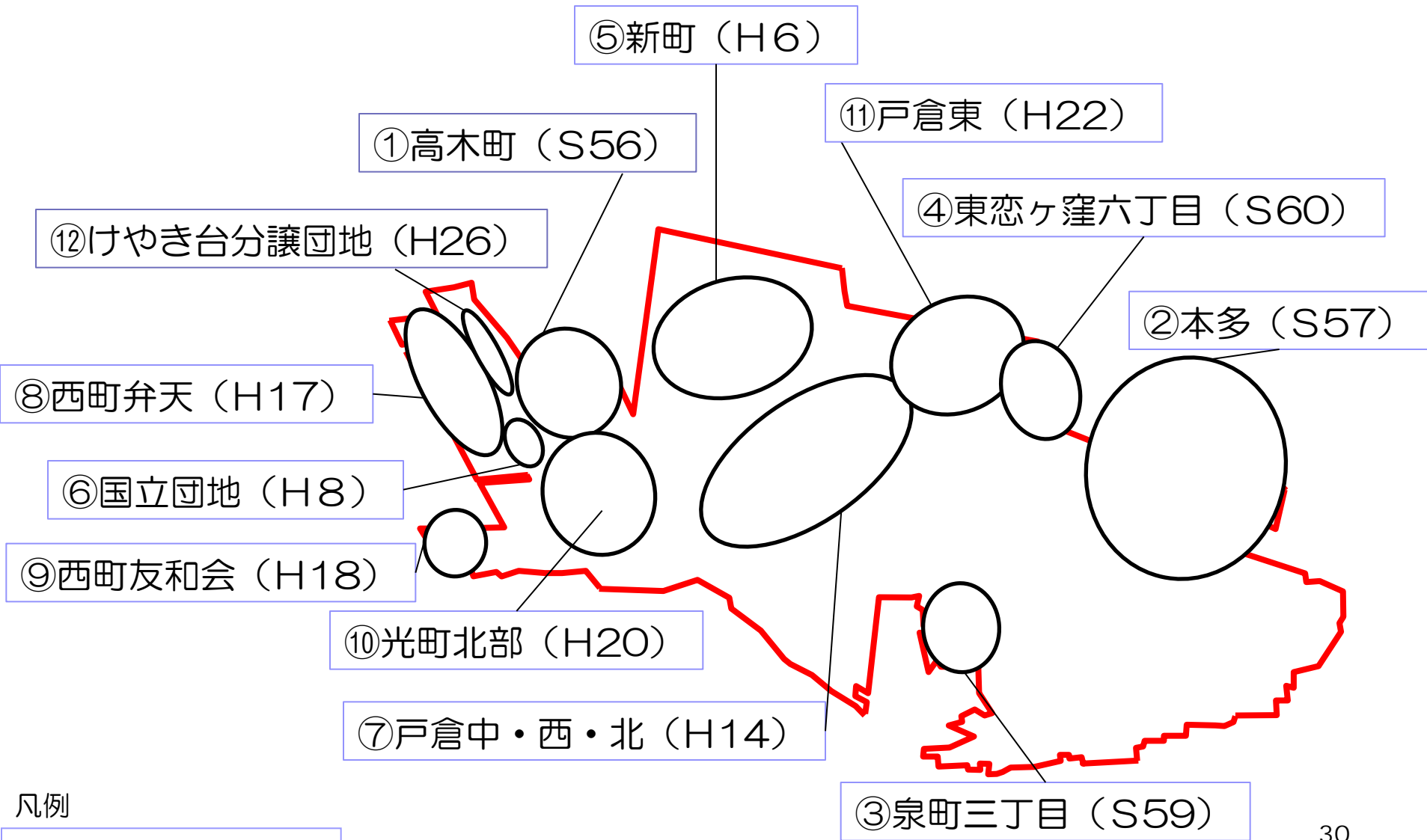


(防災まちづくり推進地区状況 平成26年4月1日現在)

地区名		協定締結日	面積 (h)	世帯数	人口
国分寺市			1148.0	54,712	116,182
1号地区	高木町地区	S56.2.13	35.2	1,177	2,916
2号地区	本多地区	S57.1.16	65.4	4,363	8,842
3号地区	泉町三丁目地区	S59.1.23	16.3	1,642	3,160
4号地区	東恋ヶ窪六丁目地区	S60.5.23	12.5	812	1,784
5号地区	新町地区	H6.12.22	31.1	1,324	3,324
6号地区	国立団地地区	H8.5.13	2.2	107	243
7号地区	戸倉自治会中・西・北地区	H14.2.16	90.6	3,215	7,629
8号地区	西町弁天町内会地区	H17.8.21	34.5	1,375	3,146
9号地区	西町友和会地区	H18.9.3	2.9	158	343
10号地区	光町北部自治会地区	H20.7.13	74.1	2,772	5,837
11号地区	戸倉自治会東地区	H22.3.29	37.0	1,594	3,472
12号地区	けやき台分譲団地管理組合地区	H26.2.18	3.6	350	635
推進地区 計			405.4	18,889	41,331
市全体に対する割合(%)			35.3	34.5	35.6

※世帯数・人口：推進委員の数ではありません。人口、世帯は平成25年4月1日現在

防災まちづくり推進地区



凡例

地区名 (協定締結年度)

§ 6. むかしの井戸事業

井戸設置 の目的

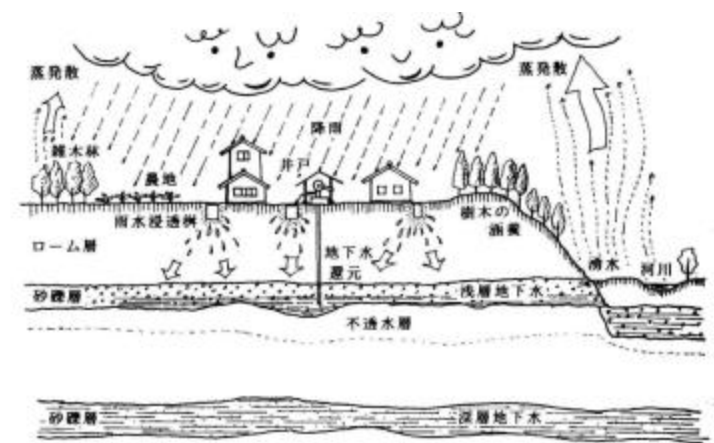
災害時の水の確保
市民のふれあいの場を確保
自然を肌で感じる

事業内容

水質検査 年1回(専門業者)
簡易水質検査 月1回(推進委員)
井戸端会議
市内19か所
(うち、市の施工・管理は17か所)



井戸端会議のようす



井戸のしくみ

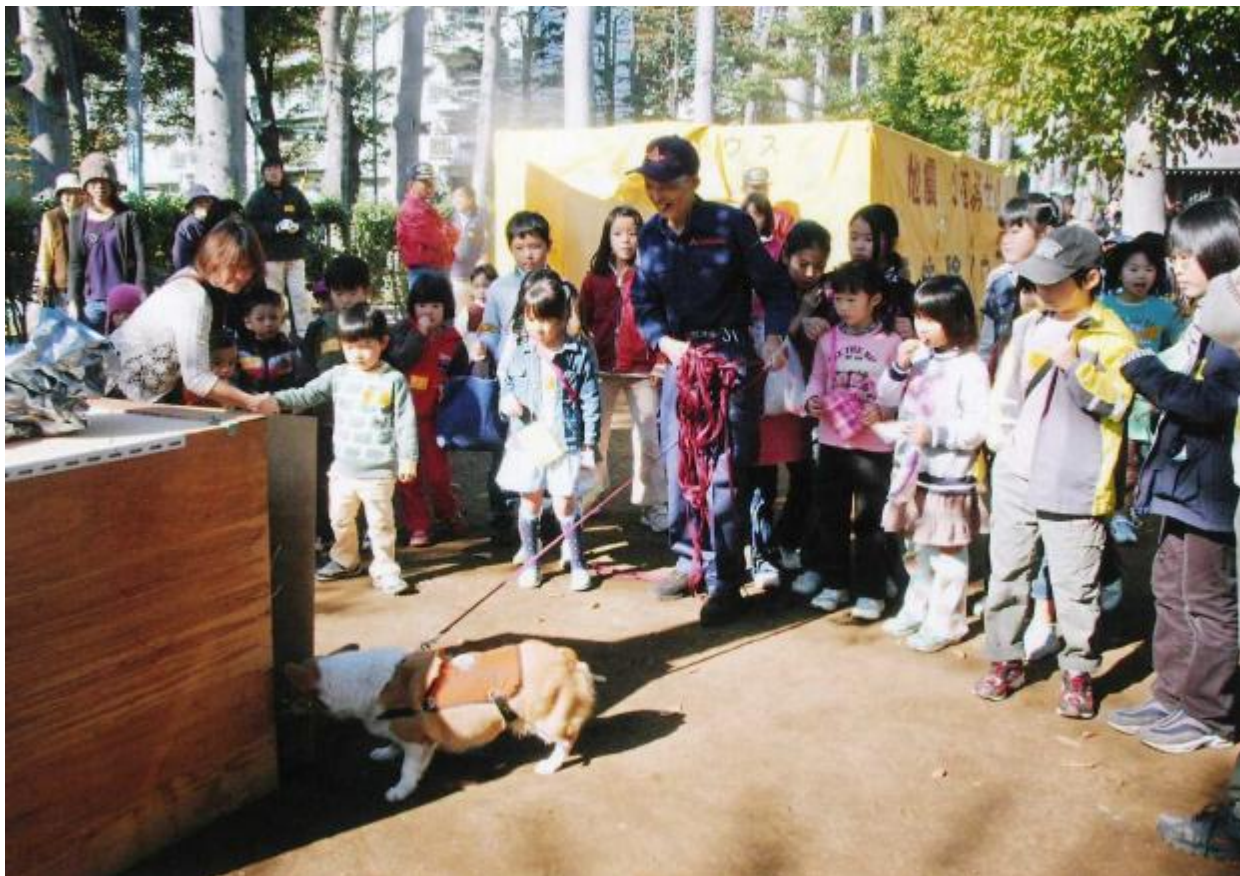
国分寺市 むかしの井戸設置一覧

井戸名	所在地	井戸名	所在地
なかよし井戸 ※	日吉町3-10-3	カメ井戸	西町4-25-1
90度井戸	富士本3-19-11	高木井戸 ※	高木町3-25-60
かしの木井戸 ※	東恋ヶ窪6-17-48	ポプラ井戸	日吉町4-2-41
ぐるぐる井戸 ※	新町2-26-69	武蔵国分寺井戸 ※	西元町1-10
室内プール前井戸	西恋ヶ窪3-33-3	わかば井戸 ※	本多5-20-9
たきくぼ井戸 ※	泉町3-5-18	戸倉公園井戸 ※	戸倉4-8-4
北町公園井戸 ※	北町5-24	内藤橋井戸 ※	内藤1-28-20
つつじ井戸 ※	西町2-22-40	戸倉井戸 ※ (民間井戸)	戸倉4-34 (戸倉神社内)
けやき井戸	小平市上水本町6-22-2	ふれあい井戸 ※ (民間井戸)	西町2-21-5 (国立団地協議会共有地内)
もみじ井戸 ※	光町1-15-4		

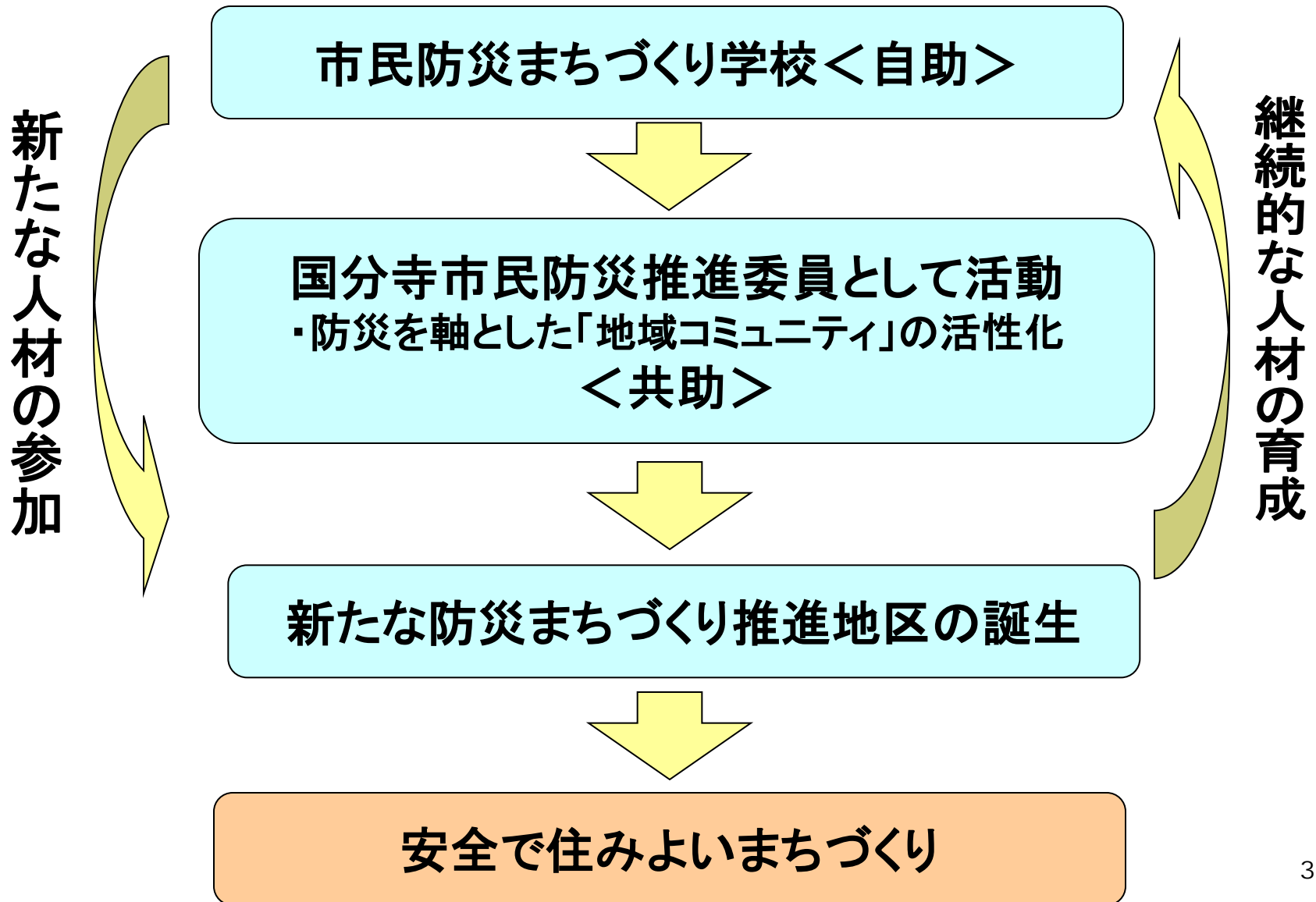
※…井戸端会議開催井戸

井戸端会議…周辺住民が井戸を囲み、簡易的な水質検査や、様々な情報交換を行うもの

3. 市民主体の防災まちづくり



市民主体の防災まちづくりの実現イメージ図



御静聴ありがとうございます。

